

## 2011年秋学期レポート

早いもので、ギャロデット生2年目になった。今学期履修したクラスは5クラスである。ソーシャルワークのクラスも、授業内容が昨学期よりも本格的かつ実践的になり、刺激を受けた。

### 履修クラス

#### 1) Methods of Multiples Disciplines/総合学習 言葉遊び

一般教養クラスのひとつ。英語とアメリカ手話の言葉あそびについて学び、比較するクラスである。英語の言葉遊びがあるのは知っていたが、手話にも言葉遊びがあるとは思わなかったのが新鮮であった。始めは、英語のジョークをアメリカ手話で言うのかと思ったが、中身を覗いてみると、アメリカ手話独特の言葉遊びも沢山あることがわかった。学期末には、アメリカ手話ゲーム創作をした。簡単そうだが、いざ作ろうとなると、なかなか案が出てこらず、苦戦した。ゲームが出来上がったときは、何とも言えない達成感があった。ことば遊びは語彙力や発想力を伸ばすことができるし、その言語の魅力を再発見したり、豊かなコミュニケーションを促進することもできる。手話を使った言葉遊びを知っている人はまだ少ないので、もっと普及すればと感じた。このクラスを通して、また手話の新しい顔を見つける事ができた。英語とアメリカ手話は母語ではないので、その言葉遊びを理解したり、自分で創作したりするのは難しかったが、言葉遊び・言語の知識を深めることができた。たくさん脳を回転させたので、脳年齢が若返っていることを祈りたい。

#### 2) Basic American Government/アメリカ政治学入門

アメリカ政治の歴史と仕組みについて学ぶクラス。時にはアメリカのみにとどまらず、ほかの国の政治にも触れたりした。また、政治学を学だけではなく、自分自身の政治観を分析してみたり、クラスメイトと現代社会の問題を討論したりした。この機会に、日本の政治のしくみについても調べたり、比較したりして、日本の政治についての知識もめることができた。

#### 3) Development of the American Social Welfare System/

##### アメリカのソーシャルワークシステムの発展

このクラスでは、アメリカの社会福祉制度や、それに関する法律や規制などについて学んだ。また、その法律・規制は誰のために・何のために制定されたものなのか、利点・欠点は何か、短期的・長期的効果は何か、などといった分析をしたり、改善案を出し合ったりした。また、現代の社会問題を分析した。

#### 4) Social Work Practice I: Individuals/ソーシャルワーク演習：個人

演習クラスには個人、集団・家族、地域・組織をそれぞれ対象としたクラスがあり、このクラスは個人を対象とした演習クラス。クライアントという個人を主として考え、そのクライアントが直面している問題を解決に導く援助をする為の知識や技術を習得する。このクラスはロールプレイングが多いので、講義で学んだことを実際にロールプレイングで応用してしっかり理解することができた。ロールプレイングの様子をビデオに収録し、見直すことで、ロールプレイング中には気づけなかった点などに気づいたり、クラスメイトにもアドバイスをしてもらったりして、能動的に学ぶことができた。それでもまだ、迅速かつ柔軟に臨時応変できるコミュニケーションスキルと、同時にしっかりクライアントに関する情報をしっかり収集・分析し、クライアントのニーズを把握するスキルを身につける為にはさらなる練習が必要だと感じた。また、同時に、クライアントが必要とする制度やサービスの利用に結びつけるための、制度やサービスに関する知識も必要なのだと感じた。

#### 5) Human Behavior and the Social Environment I/人間行動と社会環境

これは生物的・心理的・社会的・文化的構成がどう人間の行動に影響するか、またソーシャルワーカーに求められる対応は何かを学ぶクラス。また、現代の社会問題（貧富格差、児童虐待、未成年の妊娠、自殺、生活習慣病など）を取り上げ、ソーシャルワーカーはそれらとどう向き合うかを考えた。

#### 秋学期を振り返って

秋学期は、新しいことを学ぶことの他に、それを活かすために学んだ事を応用・実践したり、新しく創作したり、またそこから新しいことを学んだり、多くのことにチャレンジすることができた。そして、学問の楽しさ・面白さを感じずにはいられない秋学期であった。こういうチャンスに恵まれ、とてもうれしく思う。来学期は6講義受けるつもりでいるので、さらに忙しそうになりそうだが、この気持ちを忘れず、精一杯精進していきたい。